

北海道の印刷

PRINTING INDUSTRY IN HOKKAIDO

第710号

[Website] <http://www.print.or.jp>

[E-mail] info@print.or.jp

7

2015

平成27年
7月10日発行

INDEX

印刷燦燦	3
2015北海道情報・印刷産業展	4・5
2015北海道情報・印刷産業展公式セミナー	6
「印刷営業セミナー」案内	7
印刷機械基礎メンテナンス講習会	8
「勝ち残り合宿ゼミ」案内	9
日本印刷個人情報保護体制認定制度講習会	9
「特別ライセンスプログラム“CC”2015」新規募集案内	10・11
ソーゴー印刷(株)が「北海道移住の本」で経済産業大臣賞	12
第28回北海道印刷関連業協議会ゴルフ大会案内	12
業界のうごき	12

[表紙] 大沼国定公園と駒ヶ岳 (7月：亀田郡七飯町)

北海道印刷工業組合

〒064-0808 札幌市中央区南8条西6丁目1036番地
TEL.011-562-6070/FAX.011-562-6072

UD
FONT
by MORISAWA

100%
古紙100%再生紙

VEGETABLE
OIL INK

GREEN PRINTING JAPAN
P-00023
2015年度印刷技術革新賞
印刷技術革新賞受賞企業

CSR

この印刷物は、CSRに
取り組む印刷会社が製作
した印刷物です。

P-00023

印刷 燦 燦

今日も旭ラ～ あなたの食べたいラーメンがここにある

表題の「旭ラ～」とは、旭川ラーメンを愛する人達のことである。

昨年3月、旭川大学江口ゼミナールの学生達が旭川ラーメンを数年かけて研究してきた結果を一冊の本にまとめたという話が持ち上がり、私ども、旭川印刷製本工業協同組合が名乗りをあげ、協同事業として今年3月24日に発刊となった。

当然、出来上がるまでは紆余曲折があり、発刊まで1年ほどかかったが、かなりレベルの高い本に仕上がったと思う。

経済学部^{きぎく}の学生らしく製麺会社の出荷量まで聞き出し、店舗数や一杯当たりの平均価格から市場規模をはじき出したり、読者にわかりやすく索引やジャンル分け、チェックシートまで準備され、内容に関しては非常に満足度の高い本であると思う。

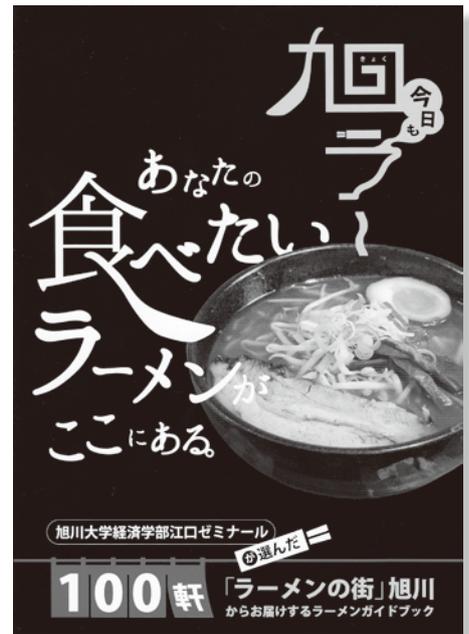
私どもの受け持ちは、印刷、出版、販促の役割のため、皆で手分けして、PRを含め新聞社、月刊誌にアタックをかけ、販売先は各書店、コンビニ、道の駅、ホテル等に置いてもらうことができた。

その甲斐があつてか1週間もしないうちに5,000冊を出荷、直ぐ5,000冊を増刷・出荷、1ヵ月も経たないうちに、更に5,000冊の増刷・出荷の運びとなった。

合計15,000冊を売り尽くす勢いである。

何故、こんなに反響があつたのか、私なりに考えると販売価格が500円というリーズナブルな設定も含め、中身のボリューム感、特に木目細かな取材と学生達のこの本にかける意気込みが感じられたからではないかと考える。

私どももこの本によって、少しでも旭川の元気に役立ってくれば幸いであるとともに私どもの初めての試みが大成功に終了しそうなことに安堵しているところである。



北海道印刷工業組合監事 植平有治

植平印刷株式会社 代表取締役

2015北海道情報・印刷産業展が盛大に開催

49社、153小間が出展、来場者6,050人

北海道印刷工業組合と関連5団体で構成する北海道情報・印刷産業展が主催する2015北海道情報・印刷産業展が、6月11日・12日・13日の3日間、札幌市白石区のアクセスサッポロで49社153小間の出展で開催された。

設備導入、情報交換の場として、ユーザーはじめ関係者の高い評価を得て、会期中6,050人が来場し、賑わった。

また、11日と12日に開催した4つのテーマの公式セミナーも盛況であった。

2015北海道情報・印刷産業展は、道内印刷関連企業が将来を展望し、企業経営の価値を見出すとともにデジタル化推進に必要な機資材の選択や情報の収集、ソリューションビジネスを模索するために開催されていて、今年で23回目となった。

出展機器は、プリプレス機器、印刷機械、POD機器、製本機械、加工機、情報機器、ソフトウェア、資材等で実演・展示が行われた。

初日の6月11日午前9時30分から、来賓、出展者などが出席して開会式が開催された。



板倉 清
実行委員会 会長

最初に、主催者を代表して、板倉清 実行委員会会長（北海道印刷工業組合理事長）が、来賓に対して臨席のお礼、機器・資材メーカーならびに北海道印刷機材販売業者懇話会会員に対して出展の協力のお礼を述べたあと、「今年は、9月にIGASが開催されることから、会期を例年の9月から6月に変更しての開催であるが、例年通りの出展で開催できることになった。言うまでもなく、道内の印刷産業を取り巻く環境は、政府の経済政策の恩恵が実感できなく、人口減少などによる社会環境の変化、需要構造の変化によるペーパーのメディアの流出、業際化など、様相は一変してきており、これまで経験したことのない、大きな変革への対応が迫られている。さらに、デジタル技術の目覚ましい発展により、情報伝達の手段が多岐になり、一層精度の高いプロの技術を探求し続け、情報産業と製造業を兼備し、ソリューション・プロバイダーへ進化して行かなければ、将来展望は描けなくなっている。本産業展は、道内印刷関連業の将来を展望し、企業経営の価値を見出し、クロスメディア推進に必要な印刷関連機材・情報機器等の選択、情報の交換、ソリュー

ションビジネスを構築する絶好の機会であり、ICT時代の道内印刷関連業の原動力となり、ひいては印刷業界全体の発展に繋がるものと確信している。加えて、2007年から毎年開催し、好評を博している公式セミナーは、今年は、「望まれる印刷・関連企業になるために【第9弾】」として、4つのテーマで開催する。出講いただいた4社に感謝申し上げ、受講される皆さんには、この機会を活かし、大いに研鑽いただければと思う。展示会におけるセミナーへ寄せられる感心の高さは、全国的な流れになってきており注目している。また、全道の皆さんに、全国の優れた印刷製品を見て、触れていただける『第56回全国カタログ展入賞作品展』、『2015年第66回全国カレンダー展入賞作品展』を同時開催している。3日間、事故なく、見学された方、出展された方、それぞれが、実り多い成果が得られ、新しいかたちで来年に繋がる、素晴らしい産業展になるよう支援をよろしくお願ひしたい。大きな成果を勝ち取るよう、3日間、頑張ろう」とあいさつを述べた。

次に、来賓紹介が行われ、代表して3人から祝辞が述べられた。



中野 健氏
(北海道経済産業局)

中野 健 経済産業省北海道経済産業局地域経済部次長は、「印刷産業、印刷業界は、デジタルメディアの進展によって情報伝達手段が多様化するなか、人口減少といったことも加わり取り巻く環境が大きく変化して、その対応に迫られている状況にあると思う。伝達手段の多様化と言っても印刷物は情報あるいは文化の伝達媒体として、依然として大きな存在感を有している。印刷物ならではの領域がまだまだ数多くあると思う。印刷産業、印刷業界関係の皆さんにおかれては

印刷物というメディアのプロフェッショナルとして、さらにお客様への提案力に磨きをかけるということで、まさにソリューション・プロバイダーへの進化を図っていることと思う。北海道経済産業局として皆さんの取り組みを、新技術、新商品の開発、生産性向上のための設備投資等で、各般の施策を活用して積極的に北海道庁はじめ関係の機関と連携して、できるかぎりの応援をしたい」と述べた。



三橋 剛氏
(北海道)

三橋 剛 北海道経済部産業振興局産業振興課長は、「本道の経済状況を展望すると、人口減少が全国を上回るスピードで進んでいて、市場縮小をはじめ、地域の経済、暮らしなどさまざまな分野への影響が懸念される。

印刷業界においても需要の縮小という問題があるなか、一方では、IT時代に対応するためのデジタル技術の導入促進、新しいビジネスへの変革が求められている。こうしたなか、北海道情報・印刷産業展は、昨年度、ユーザー、関係企業など6,000人を超える来場があった。また将来的な印刷ビジネスを考えるためのセミナーも大盛況であった。本年度の開催においても最新技術の紹介、セミナーの開催が予定されている。業界が一体となって時代にふさわしい新しい印刷ビジネスの展開を積極的に情報発信されるということは、私どもも大変意義深いと考えている。本道のものづくり産業の振興発展のために、今後とも北海道印刷工業組合はじめ印刷関連の皆さんの一層の活躍を期待する」と述べた。



早瀬京太氏
(札幌市)

早瀬京太 札幌市経済局産業振興部ものづくり産業課長は、「人口減少等を背景として地方創生ということで私ども地方自治体が動き始めているところであるが、そのなかで情報発信が非常に重要になってくると

考えている。私の所管するものづくりの分野においても人が少なくなっていくということで、生産年齢人口が少なくなっていくということで、ものづくり人材をしっかりと確保しなければならないという課題がある。そのためには若い世代の方々にもものづくりの魅力、やりがいをしっかりと伝えていかなければならないということがでてくる。そこで大事なものは伝えるということだけでなく、伝わるということであり、しっかりと伝わっていくその実現のためにはいろいろなノウハウが



必要になってくる。そうしたノウハウについて業界の皆さんはいろいろな部分で持っていると思うので、業界の皆さんがこれからもノウハウを大いに発揮していただき、より一層活躍されることを心から期待したい。皆さんを取り巻く事業環境は、原材料高、電気料金の値上げなど大変厳しい状況が続いているものと思う。私どもはそういった部分の一助になればと思い、今年度は電気の使用量の見える化をする機器を貸し出す。もう一つは省エネの専門家の方に現場に行ってもらい、いろいろなアドバイスをしていただく。以前に同様の取り組みをして印刷業界の方にも大きな成果を上げていただいたという事例もあるので、皆さんにも活用を検討いただければと思う。今年5月に市長が代わった。新しい市長から市民目線、企業目線、あるいは現場の感覚を大事にして変えるべきものは直ぐに変えて行動しなさいと強く言われている。今後いろいろな声を頂戴しながら我々も動いていきたいと思う」と述べた。

次に、来賓の中野健経済産業省北海道経済産業局地域経済部次長、三橋剛北海道経済部産業振興局産業振興課長、早瀬京太札幌市経済局産業振興部ものづくり産業課長、板倉清北海道情報・印刷産業展実行委員会会長、岸昌洋同実行委員長（北海道印刷工業組合副理事長）によりテープカットが行われ、開幕した。

同産業展において、「第56回全国カタログ展入賞作品展」ならびに「2015年第66回全国カレンダー展入賞作品展」が同時開催された。

さらに、11日と12日には、公式セミナーが、「望まれる印刷・関連企業になるために【第9弾】」として4つのテーマで開催され、盛況であった。

2015北海道情報・印刷産業展公式セミナー開催される

望まれる印刷会社・関連企業になるために【第9弾】

2015北海道情報・印刷産業展公式セミナーが、会期中の6月11日と12日にアクセスサポ
口のレセプションホールで4つのテーマで開催され、多数の受講者で盛会裡に開催された。

セミナー第1講は、11日午後1時からコニカミノ
ルタビジネスソリューションズ(株)の提供で、同
社マーケティング本部業種マーケティング部CRMグ
ループの中山好彦氏を講師に迎え、「印刷会社必見!
小売業における、増販増客×販促事例のご紹介」を
テーマに開催された。

山中講師は、もはや待ちの経営では勝ち残れない
今こそ、実践的な販促&マーケティングが重要視され
ていると指摘し、小売業が実践する過去の優れた分析
×販促の事例を紹介し、このなかにこれからの印刷会
社のビジネスモデルが見え隠れしていると説いた。

セミナー第2講は、11日午後3時から(株)メディアテ
クノロジージャパンの提供で、(株)レザック東京事業部
営業課の春名喜裕氏、アビット・フレックス(株)マネー
ジャーの阿部正法氏、(株)SCREENグラフィックアンド
プレジジョンソリューションズGAソリューションズ部課
長の中村 聡氏の3人を講師に迎え、「紙器・軟包装
印刷業界向けオープンインターフェイスワークフロー
のご紹介」をテーマに開催された。

春名講師はデザインイメージを3Dビューアでリア
ルタイムに表示するオールインワンのCADシステム、
阿部講師は入稿データのチェック/ニゲ等の特色製
版処理/殖版をIllustrator上で全て完結するプラグ
インソフト、中村講師は特色対応プリンターを使った
カラーマネージメントについてそれぞれ説明した。



セミナー第3講は、12日午後1時からリコージャパ
ン(株)の提供で、(株)バリューマシーンインターナシヨナ
ル代表取締役社長の河島弘司氏を講師に迎え、「新
しい印刷サービス立ち上げのための『“キラー”サー
ビス』を創り出す方法」をテーマに開催された。

河島講師は、「キラーサービス」はVMI.incが提
唱する新しい価値提供の考え方と前置きし、自社の
強み、持ち味を注入した新たなサービスとしてキラー
サービス構築にチャレンジしようと訴え、自社で発見
するのが難しい強み引き出しの方法から、サービス構
築のプロセス、ツール活用法、立ち上げ時のチェック
ポイントまで事例を交えて解説した。

セミナー第4講は、12日午後3時から富士フィルム
グローバルグラフィックシステムズ(株)の提供で、富士
ゼロックス(株)PS営業本部マーケティング部の越後英
雄氏を講師に迎え、「印刷物を売る発想から、お客様
売上増大のお役立ちへ」をテーマに開催された。

越後講師は、紙とWebの両方の良いところを結び
付け、お客様の売上増大に役立つ企業に生まれ変わら
ないと思わないかと問いかけ、それには従来の発想を
大きく変える必要があるとし、日本の市場が今どのよ
うに変化しているのか、その理由、世界のモノづくりは
今後どう変わるのかなどを説明し、実際にお客様の売
上を増大させている事例を、PODを用いたダイレクト
マーケティングを通して解説した。

2015印刷の月

「印刷営業セミナー」のご案内

～印刷営業マンの売上が4.5倍になった“販促プランナー変身術”～

北海道印刷工業組合は、“モノ売り”から“コト売り”へと印刷営業マンが販促コンサルタントへの転身が図れるよう「印刷営業セミナー」を開催する。

印刷ビジネスは多様化し、これからの印刷営業マンは、モノ売り（印刷の請負）からコト売り（業績アップの請負）へ、意識とスキルをシフトしなければならない。

そのためには、営業マンから販促コンサルタントへ役割を高度化させる必要がある。

本セミナーでは、小規模企業の業績を短期間で上げるマーケティングコンサルタントの加藤洋一氏を講師に迎え、販促コンサルタントとして必要なヒアリン

グ能力、潜在ニーズを引き出すトーク術など、即実践で活用できることを学ぶ。

さらに営業マンの意識も変える。

「何か印刷物ないですか?」

「うちに見積りさせてもらえませんか?」

「よその見積りいただけませんか?安くやりますので…」

もし、営業マンがこんな台詞を言っていたら、この研修を受けて成績が上がる可能性が高い。

1. 日 時 | 平成27年9月4日(金) 午後5時～7時
2. 会 場 | かでる2.7 7階 710会議室（札幌市中央区北2条西7丁目 TEL011-204-5100）
3. テー マ | 「印刷営業マンの売上が4.5倍になった“販促プランナー変身術”」
4. 講 師 | 株式会社U.S.P 代表取締役 加藤洋一氏
5. 主 な 内 容 | ①売上が4.5倍になった営業マンの成功事例
②これからの印刷営業マンは、モノ売り（印刷の請負）からコト売り（業績アップの請負）へ
③折込チラシのデザイン費を4万円から40万円にして感謝された提案の仕方
④印刷営業マンが簡単にできた中小企業の業績の上げ方（USPマジカルシートの使い方）
⑤「〇〇君に相談したいことがあるのだけど」と頼りにされるクライアントとの関わり方
6. 受 講 料 | 3,000円
7. 受講料支払 | 下記口座へ8月20日までに振り込む（振込手数料は受講者負担）
北洋銀行 東屯田支店 普通預金 0212497 / 北海道銀行 本店 普通預金 1169217
口座名：ほっかいどう 印刷 工業 組合北海道印刷工業組合
8. 定 員 | 80人
9. 申 込 期 日 | 平成27年8月20日(木) [申込先着順で、定員になり次第締め切る]

講師紹介 加藤洋一氏

株式会社U.S.P 代表取締役

小さな会社を短期間で業績を上げるマーケティングコンサルタント。

業績アップをさせる手法の一つに、USP（その人・会社・商品ならではの売り）を軸にしたマーケティング戦略および営業改革手法がある。日本で唯一、USP専門書を執筆。第一人者である。法人セールス一筋22年の経験を持ち、特にコンサルティング型の営業を得意として、商品・サービスを高く売ることには定評がある。

「凡人が最強セールスマンになる魔法のセールストーク」認定トレーナー、「一般社団法人日本コンサルタント協会」マスタービジネスコンサルタント、「公益社団法人日本印刷技術協会」講師。



受講申込は、<http://www.print.or.jp>からできます。

印刷機械基礎メンテナンス講習会開催される

40人が受講

印刷機械基礎メンテナンス講習会が、5月23日午後1時30分から、北海道立札幌高等技術専門学院で、約40人が受講して開催された。

➡ の講習会は、北海道印刷工業組合札幌支部が、
↳ ハイデルベルグ・ジャパン株式会社（ハイデルフォーラム21）と北海道立札幌高等技術専門学院の協力を得て開催したもので、同学院のハイデルベルグ社製スピードマスターSM-52-4（菊四裁4色機）を借り、実機を用いて行われた。

最初に、主催者を代表して岸昌洋札幌支部長が、「突発的な故障やトラブルによる印刷機の停止は、生産現場の収益を圧迫するだけでなく、会社経営に大きく影響を及ぼす。それを防ぐには日々のメンテナンスは欠かすことのできない重要な事項である。メンテナンスを行うことによって機械を安定稼働させることで品質が安定し、稼働率の向上や無駄が削減できる。皆さんは印刷マイスターを目指して、しっかり勉強してほしい」とあいさつを述べた。

講習会は、2班に分かれ、座学と実機を使用した研修を交互に行った。

座学はハイデルベルグ・ジャパン(株)印刷必需品本部の本郷正義氏が講師を務め、「ローラーメンテナンスの重要性とABC」をテーマに、実機を用いた研修はハイデルベルグ・ジャパン(株)CS本部の山地崇弘氏が講師を務め、「生産性向上のための印刷機基礎メンテナンス」をテーマに行われた。

メンテナンスの基本は、汚れを掃除し、機械各部の点検を行い、給油・調整を行うことであり、長年にわたって高価な印刷機を正常な状態で維持できるか、あるいは2～3年で著しく劣化させ、品質の低下や印刷速度を上げられない状態にしてしまうかは、メンテナンスを確実に実施するか否かにかかっており、メンテナンスが印刷機の管理上、最も重要であることを再認識させられた講習会となった。



「勝ち残り合宿ゼミ」のご案内

全日本印刷工業組合連合会は、「勝ち残り合宿ゼミ」と称し、組合員の50%以上にあたる中小規模の印刷会社の皆さんとともに「なぜ苦しいのか?」、「なぜ儲からないのか?」を具体的な数値管理と客観的な分析の方法を学ぶため、合宿形式のセミナーを開催する。

このゼミでは、厳しい状況下で苦勞されながらも、「将来の見通しは不安だが頑張る」、「他地区であればお互いに情報交換をしたい」という若手経営者もしくはそれに準じる次世代の経営者候補の

方々に、業界を取り巻く厳しい環境変化にも耐え得る自社の正確な立ち位置の把握と経営にとって最も必要な利益計画に基づく経営計画を講義と演習で学ぶことができる。

日時：平成27年8月28日(金)～29日(土) 28日13:00 集合/29日15:00 解散

会場：愛知・ホテルプラザ勝川（愛知県春日井市松新町1-5）

参加費：35,000円（テキスト・宿泊・懇親会費、税込）

対象：従業員数40名までの企業の経営者もしくはそれに準じる次世代の経営者候補の方で、年齢が満50歳未満の方

定員：20人

※詳細・参加申込は、<http://www.aj-pia.or.jp/pdf/katinokori4.pdf>を参照。

日本印刷個人情報保護体制認定制度 講習会が始まる

日本印刷個人情報保護体制認定制度講習会の第1回講習が、6月4日午後2時から7社8名が参加して旭川市の花月会館で開催された。

この講習会は、全日本印刷工業組合連合会が、東京都印刷工業組合の協力を得て、印刷業を取り巻く個人情報の環境が、今後厳しい様相を呈するなかで、組合員企業を対象にプライバシーマークやISMSに準じる印刷業界認定の独自のマネジメントシステムとして、個人情報保護法に基づき印刷関連事

業所を適用範囲に策定した「日本印刷個人情報保護体制認定制度」の取得をするもので、今後7月、8月、9月、10月と月1回の講習を受講し、11月にヒアリングが行われ、書類申請、審査会の審査を経て、認定を受けることになる。



「特別ライセンスプログラム“CC”2015」 新規募集のご案内

～ 本年度より随時申し込みが可能になりました ～

全印工連では、本年度も「Adobe Creative Cloud(略称:CC)」を組合員に特別価格でご提供する「特別ライセンスプログラム“CC”」の新規募集(補正含む)を行います。本年度からは随時申し込みが可能となり、昨年度と同様にCC+CSの下位バージョン使用権付(従来のCS Design Premium6.0またはCS Design Standard6.0以下の下位バージョン使用許諾権付)のAプランと、CCのみのご利用となるBプランをご用意しました。是非、「特別ライセンスプログラム」へのご参加をいただきますようお願いならびにご案内を申し上げます。

①特別ライセンスプログラムへの参加メリット

- ①全印工連のスケールメリットを最大限に活用して、全印工連傘下の組合員という限定条件で、特別な価格とサポート体制を実現しています。
- ②特別ライセンスプログラム契約を結ぶことにより、契約期間中は最新のCCのご利用が可能となりますので、契約期間中は常に最新バージョンのCCを提供します。
- ③Aプランでライセンスプログラムに参加されますと従来のCreative Suite® Design Premium6.0以下またはDesign Standard6.0以下の下位バージョン使用に関する許諾が得られることとなり、同一PCに下位バージョンをインストールして使用することができるようになります。これにより、著作権侵害のリスクを軽減することができ、企業コンプライアンスと社会的信用度が高まります。

※特別ライセンスプログラム契約のCCは、基本的にデスクトップアプリケーションとしてのご提供となりますので、CCマーケット等のクラウドサービスはご利用になれません。(ご利用する場合はCC Completeをご契約頂き、ID登録をする必要があります)

②特別ライセンスプログラムへの参加条件

- ①参加資格:全印工連傘下47都道府県印刷工業組合に所属する組合員企業
- ②契約期間:契約日より平成28年11月30日まで(途中での契約解除・脱退・返金はできません)
- ③参加条件:参加するためには以下の諸条件についての同意が必要となります
 - ①契約期間中は全印工連がサブスクリプション(期限付き使用権)の管理を行います。
 - ②会社が保有するDTP用PC全台数分のCCを購入していただきます。(Mac版、Windows版が混在していてもかまいません)
 - ③毎年11月頃に会社が保有するDTP用PC全台数と、インストールされた製品の本数をご確認いただき、購入本数より超過があった場合は補正をしていただきます。
 - ④契約期間中に購入本数に対して利用本数が減った場合でも、その払い戻しはいたしません。
 - ⑤契約期間満了時まで契約内容の変更、中止はできません。
 - ⑥契約内容につきまして、別途、契約を結んでいただきます。

③プランの概要

CC+CS Design Premiumまたは CS Design Standard 6.0以下の下位バージョン使用権付プラン

Aプラン

- | | |
|------|--|
| A-1. | CC CompleteにCreative Suite® Design Premium 6.0以下の下位バージョン使用権付 |
| A-2. | CC CompleteにCreative Suite® Design Standard 6.0以下の下位バージョン使用権付 |
| A-3. | CC Premium (CSのPremium相当) にCreative Suite® Design Premium 6.0以下の下位バージョン使用権付 |
| A-4. | CC Standard (CSのStandard相当) にCreative Suite® Design Standard 6.0以下の下位バージョン使用権付 |

Bプラン

CCのみのご利用で従来のCS 6.0以下の下位バージョン使用権が付かないプラン

- B-1. CC Complete
- B-2. CC Premium (CSの **Design Premium**相当)
- B-3. CC Standard (CSの **Design Standard**相当)

4 提供価格

下記の提供価格は月額料金（税別）を表示していますが、実際の全印工連とのご契約期間は、契約日から平成28年11月30日までとなりますので、お支払い時には一括でのご請求となることを予めご了承願います。また、Aプランの場合の「下位バージョン使用許諾権料」は初回契約時のみ契約本数分が発生します。

プラン	種類	月額利用料（税別）			オプション
		1～5本	6～10本	11本以上	下位Ver.使用許諾権料
A-1		4,840円	4,750円	4,670円	115,000円
A-2		4,840円	4,750円	4,670円	100,000円
A-3		4,670円	4,590円	4,500円	115,000円
A-4		3,840円	3,750円	3,670円	100,000円
B-1		4,840円	4,750円	4,670円	—
B-2		4,670円	4,590円	4,500円	—
B-3		3,840円	3,750円	3,670円	—

※上記ライセンスは1本あたりの価格 インストールメディア代は含んでいません。

契約料金計算方法

■Aプランの場合

(月額利用料×利用月数)×契約本数+ (下位Ver.使用許諾権料)×契約本数

■Bプランの場合

(月額利用料×利用月数)×契約本数

★ご購入と詳細内容のお問い合わせに関しては、全印工連HP「特別ライセンスプログラム」ページをご確認ください。

⇒<http://www.aj-pia.or.jp/>

※お支払いにつきましては、全日本印刷工業組合連合会からの請求書が到着してからお願い申し上げます。

※全印工連からのご提供は、インストールメディア（DVD）となります。

※契約、申込等に関するお問合せは、全日本印刷工業組合連合会（TEL：03-3552-4571/担当：抜井、池尻）までお願いします。

ソーゴ印刷(株)がジャクラ作品展で経済産業大臣賞受賞

ソーゴ印刷株式会社（高原淳社長/帯広市西26条北1丁目25番地）は、同社が昨年発行した「北海道移住の本」（中国語版）が、日本グラフィックサービス工業会主催の「2014年度ジャクラ作品展」の出版印刷部門で最高賞の経済産業大臣賞を受賞した。

「北海道移住の本」は、同社が発行する季刊誌「スロ

ウ」で取り上げた道内移住者の特集で、北海道観光に関心を持つ台湾の出版社が翻訳して、再編集し、昨年1月と9月に発行された。



第28回北海道印刷関連業協議会ゴルフ大会のご案内

第28回北海道印刷関連業協議会ゴルフ大会が開催される。

このゴルフ大会は、印刷関連業界のさらなる協調・連帯・親睦の輪を広げるため開催されており、今年で28回目となる。開催要領は右のとおり。

日 時：平成27年7月28日(火)12:08スタート
コ ー ス：滝のカントリークラブ東・西コース
会 費：5,000円
プレイ費：8,500円（ロッカーフィ含）
申 込 先：各所属団体または北海道印刷関連業協議会
(TEL:011-562-6070)

業 界 の う ご き

▶北海道シール印刷協同組合理事長に在原常貴氏

北海道シール印刷協同組合（札幌市中央区大通西18丁目2番8号 ファミール大通809）は、このたび、大和 誠 理事長が退任し副理事長になり、新しく理事長に在原常貴氏（北海シーリング株式会社）が就任した。

全日本印刷工業組合連合会
創立60周年記念行事

還暦の

つと



今年、60年目を迎えた全印工連。
業界発展に尽くされた大先輩の皆様
心から感謝と敬意を
そして未来を担う若い世代に
熱い期待を胸に
全国から仲間が「集い」ます。



日時…平成27年10月16日(金) 14:00~19:00

会場…パレスホテル東京 千代田区丸の内1-1-1

内容…60周年記念式典・表彰式(4階「山吹」) 14:00~15:15

記念講演会(4階「山吹」) 15:30~17:00 講師:堀江 貴文氏(元ライブドア)

全印工連 還暦のつと(パーティ)(2階「葵」) 17:30~19:00

参加費…15,000円(組合員)



主催…全日本印刷工業組合連合会

協力…東京都印刷工業組合、全国青年印刷人協議会、東京青年印刷人協議会 協賛…全日本印刷産業政治連盟

URL…<http://www.aj-pia.or.jp/>

